

〔No. 1〕

2024 年 6 月末現在，我が国の在留外国人（資料）の数は約 359 万人と過去最高を記録し，その国籍や活動内容も多様化している。こうした状況において，解決すべきと考えられる課題を抽出し，それに対してデザインがどのような役割を果たすことができるか，事例や想定される事例を具体的に挙げながら論じなさい。

なお，課題の抽出に際しては，必要に応じて参考資料の SDGs が掲げる目標を参照してもよい。

資料

著作権未処理のため、公開できません。

〔No. 1〕

参考資料

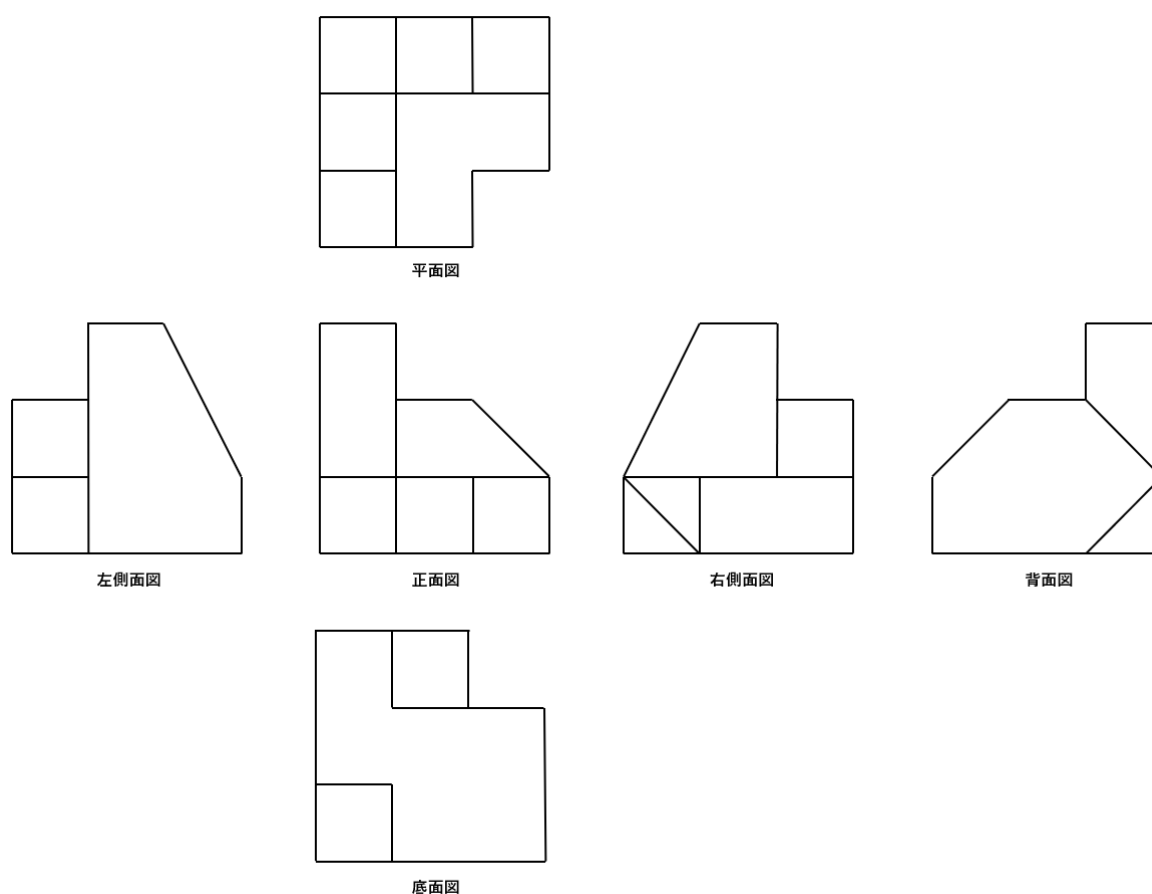
著作権未処理のため、公開できません。

著作権未処理のため、公開できません。

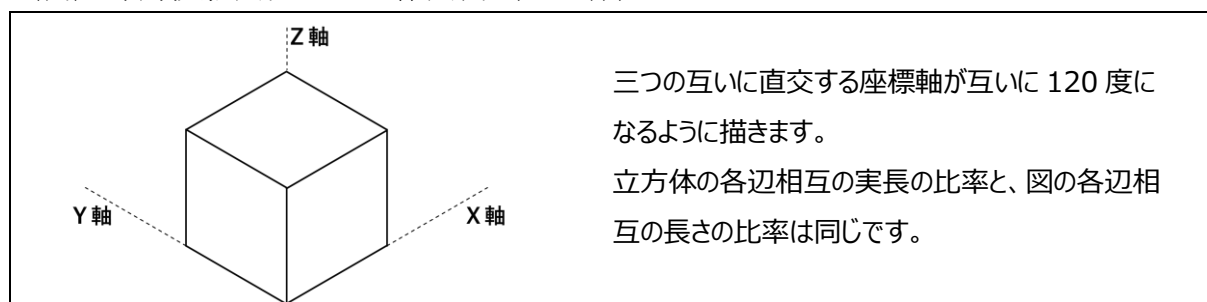
〔No. 2〕

以下の六面図によって表される立体の「正面，平面及び右側面を表す斜視図」と，「背面，底面及び左側面を表す斜視図」を，（例）に倣い，等角投影図法を用いて作成しなさい。

なお，各図の実線は立体の稜線を表し，この立体には模様及び曲面はないものとする。また，作図にあたり陰影の有無は問わない。



（例）等角投影図法による作図例（立方体）



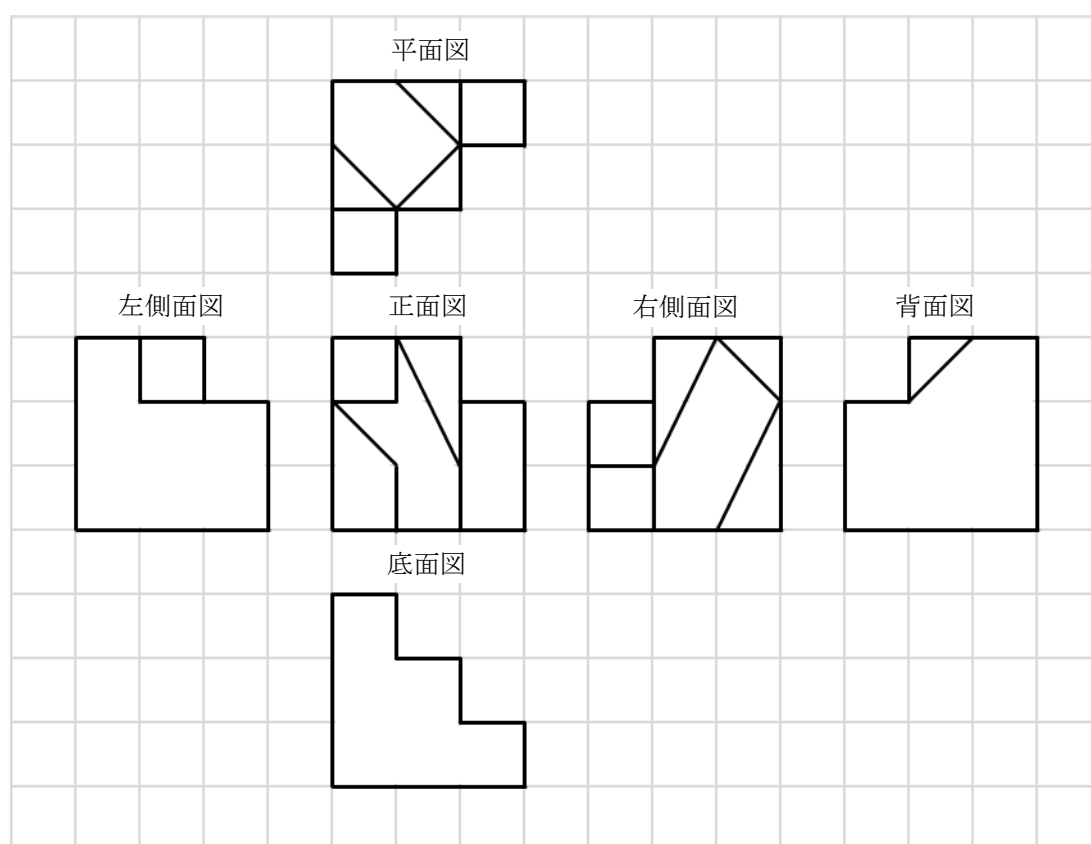


〔No. 3〕

図のような六面図によって表される立体Aの凹凸と隙間なく組み合わせて立方体となる立体を立体Bとする。「立体Bの背面、底面及び左側面を表す斜視図」を、(例)に倣い、等角投影図法を用いて作成しなさい。

なお、Bの背面、底面及び左側面は、それぞれ、Aと組み合わせたときにAの背面、底面及び左側面と同じ向きの面とする。また、各図の実線は立体の稜線を表し、A及びBには模様及び曲面はないものとする。

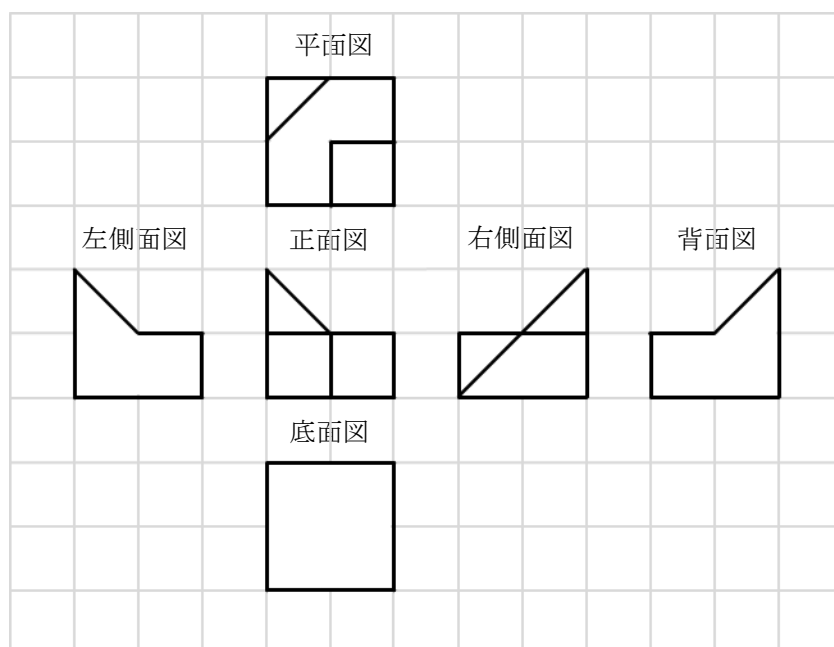
立体A



〔No. 3〕

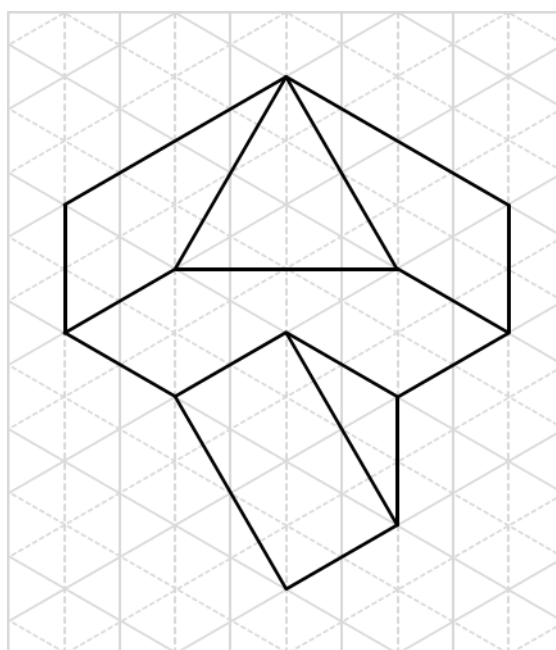
(例)

立体ア



立体アの凹凸と隙間なく組み合わせて立方体となる

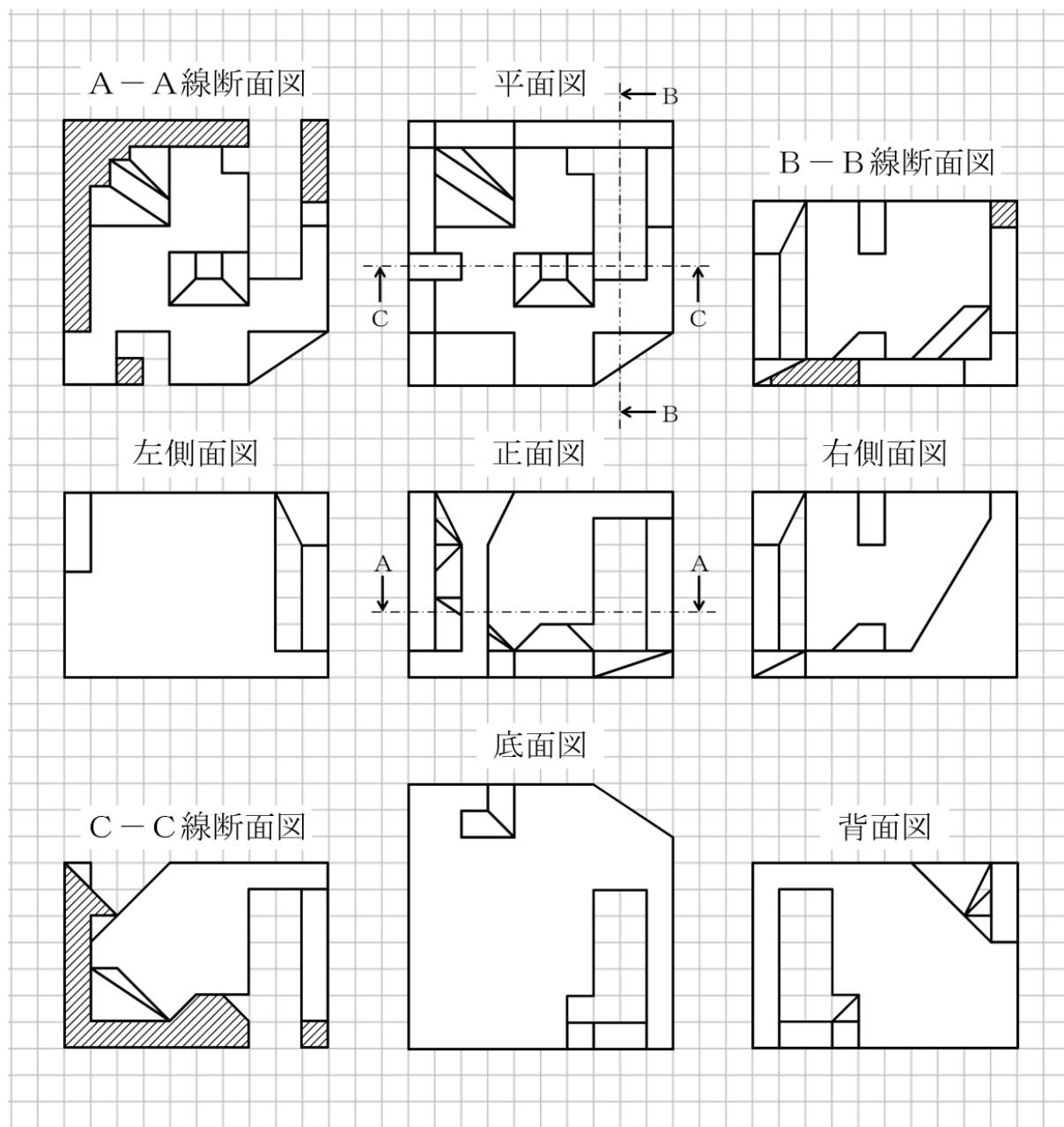
「立体イの背面，底面及び左側面を表す斜視図」



〔No. 4〕

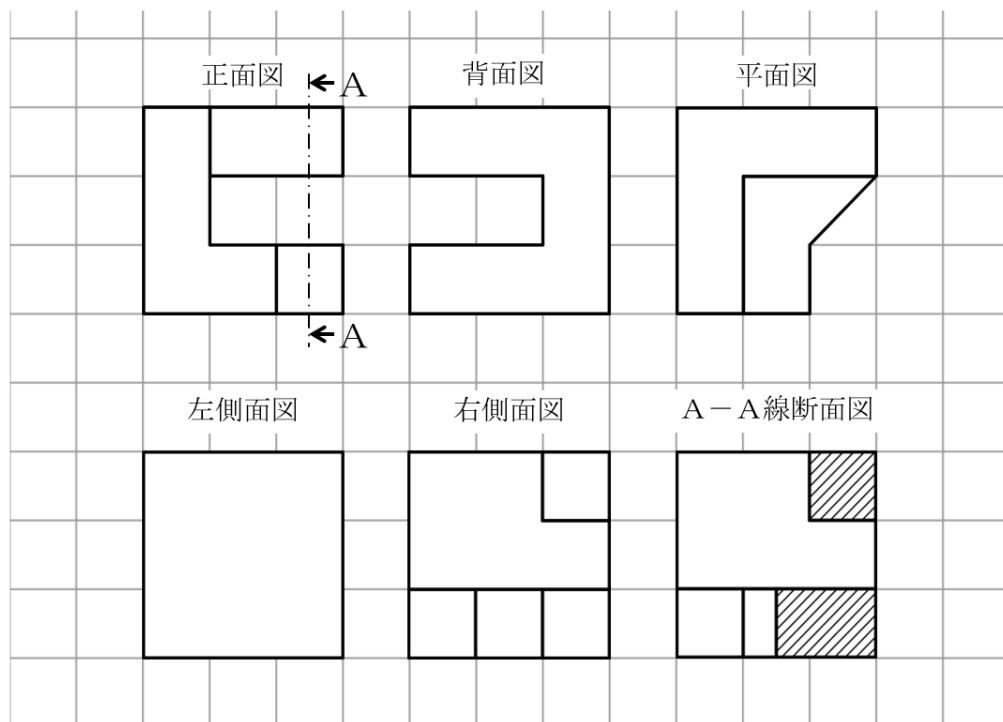
図のような六面図，A－A線断面図，B－B線断面図及びC－C線断面図によって表される立体の「正面，平面及び右側面を表す斜視図」を，（例）に倣い，等角投影図法を用いて作成しなさい。

なお，各図の実線は立体の稜線を表し，この立体には曲面、模様はないものとする。

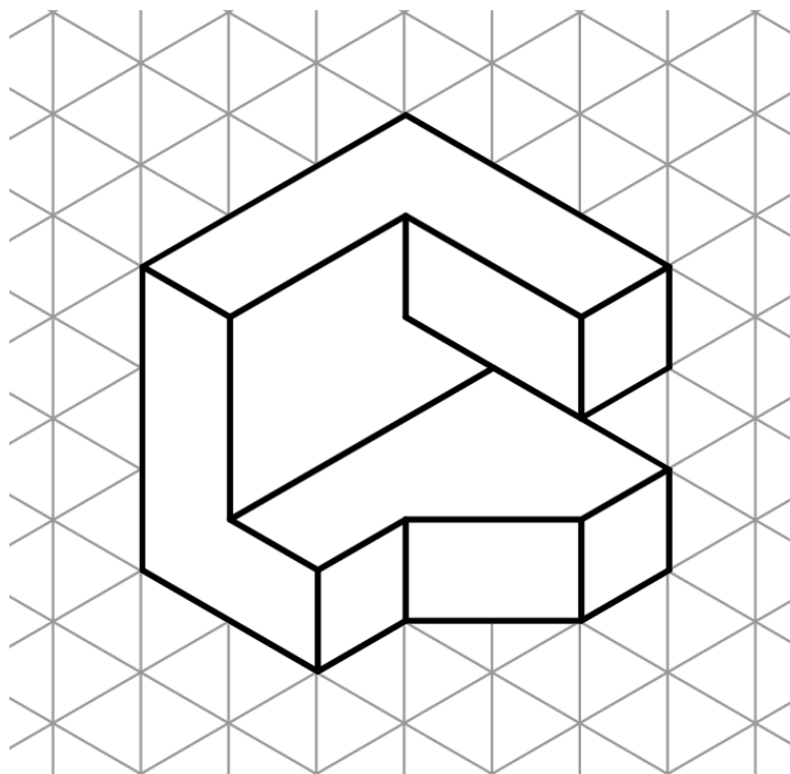


[No. 4]

(例)



「正面，平面及び右側面を表す斜視図」



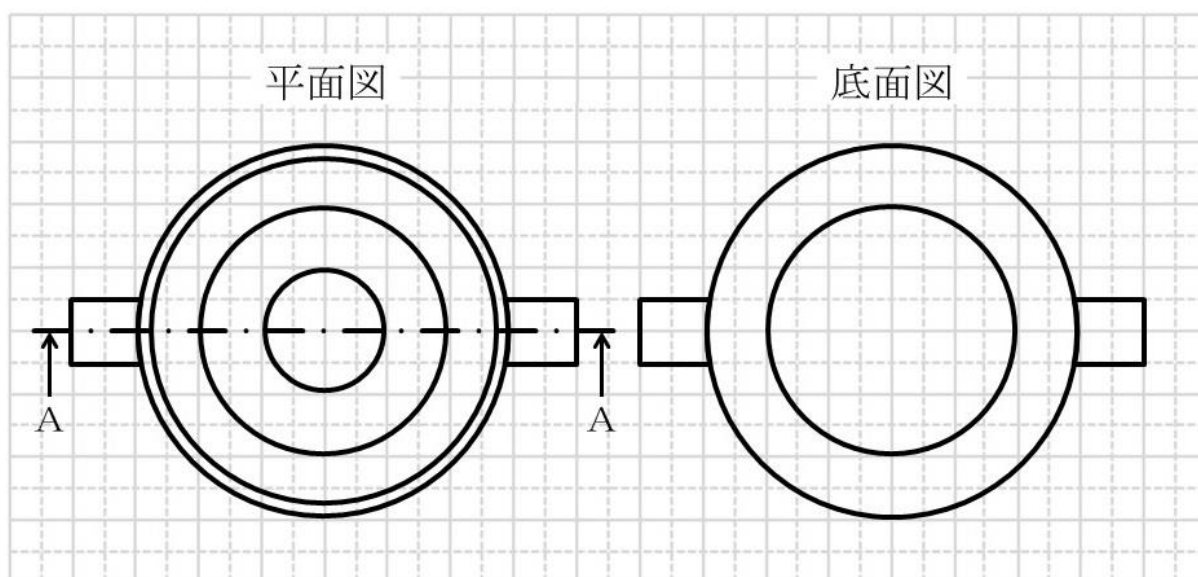


〔No. 5〕

平面図及び底面図が次のように表される二つの物品（ア），（イ）の立体形状を一つずつ自由に想起し，それらの立体の「正面図」，「A－A線断面図」及び「斜視図」を作図しなさい。ただし，A－A線断面図を描画する際は，切断面に斜線（ハッチング）を記載することとする。

（ア）台座付きカップ型トロフィー

（イ）取っ手及び蓋付きティーポット



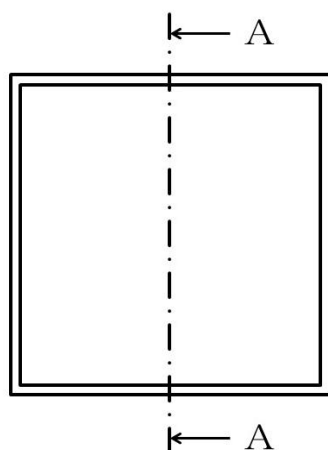
（解答に当たっての留意事項）

- ・ 平面図及び底面図に表された実線は，立体の稜線を表すものとする。
- ・ 正面図，A－A線断面図及び斜視図は，平面図及び底面図と異なる縮尺で作図してもよい。
- ・ 斜視図を描画する際に用いる図法，向き及び作成数は，任意とする。
- ・ 斜視図の解答欄の余白に，文言による補足説明を記載してもよい。

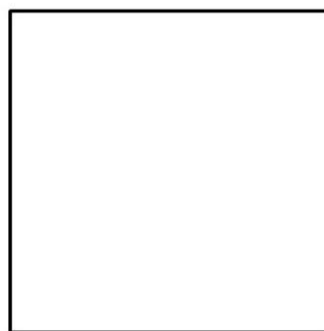
[No. 5]

(例) ファイルボックス

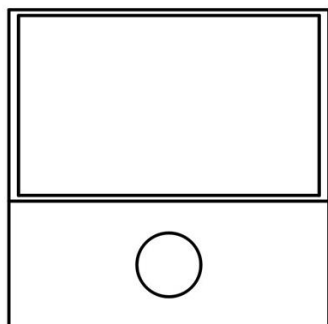
平面図



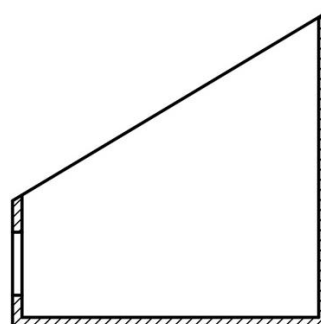
底面図



正面図



A-A線断面図



斜視図

